

復習シート 第五学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【構成に関する問題】

- ② クラスで「わたしの行ってみたい国」について、文章で発表することになりました。発表する内容について、次の〈注意〉をよく読んで書きましょう。

レベル7・8

〈注意〉 1 二段落で、五行以上、七行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが行ってみたい国の名前を書くこと。

3 二段落目には、行ってみたい国で、どのようなことをしてみたいかということにふれながら書くこと。

4 段落の最初は、一ますあけて書くこと。

〔正答例〕

わたしは、アメリカに行つてみたい。
今、外国語で英語を学習しています。英語で外国の人と話してみたいです。そして、レストランで自分の食べたいものを英語で注文してみたいです。

わたしは、エジプトに行つてみたい。
エジプトには、ピラミッドがあります。ピラミッドの大きさや歴史を実さいに自分の目で確かめてみたい。そして、ピラミッドの前で写真を撮りたいです。

わたしは、イタリアに行つてみたい。
イタリアは、ピザやパスタ、ジェラートなど、おいしい食べ物がたくさんある。いろいろな都市の食べ物を食べくらべて一番おいしい食べ物をみんなに教えたい。

わたしは、スウェーデンにいきたい。
わたしは、寒いところが暑いところよりも好きだ。氷でできたホテルがあると本で読んだことがあるので、オーロラを見ながら、氷のホテルにとまってみたいと思う。

〈注意〉 書いてあるとおりに書けているか、一つ一つ確かめてみましょう。

また、普段からいろいろなことがらに、きょうみをもって考えてみることも大事ですね。

復習シート 第五学年 国語



組	番号	名前

【情景描写の効果を捉えることができるかどうかをみる問題】

- 1 次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の□の中には、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の□の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル5・6**

【物語の一部】

良太は、小学校三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬや。」と、小さな声でつぶやきました。

（物語が続く）

【二人の会話の様子】

南田 ——— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを□で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

- 1 良太の顔の表情
- 2 良太の心の中の声
- 3 良太の周りの風景
- 4 良太の行動

復習シート 第五学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【情景描写の効果を捉えることができるかどうかをみる問題】

1 次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている【物語の一部】です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの【二人の会話の様子】の [] の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル5・6**

【物語の一部】

良太は、小学校三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っこしてきました。四月、引っこした先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級みんながよく遊んでいる場所です。学級のだれかと会って話をしたくて、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬや。」
と、小さな声でつぶやきました。

（物語が続く）

【二人の会話の様子】

南田 ——— 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したけど、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを [] で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。（しばらく考える。）

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」
としたらどうかな。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

（会話が続く）

1 良太の顔の表情

2 良太の心の中の声

3 良太の周りの風景

4 良太の行動

【二人の会話の様子】において、南田さんは「さびしい」という気持ちを「灰色の雲」が広がって「だんだんと暗くなって」いく公園の様子によって表現しようとしています。

3